

人とくるまのテクノロジー展2004

- KOYO独自の車両統合制御の提案を主体に、(株)ファーブスと共同出展 -

Automotive Engineering Exposition 2004

-Joint-Presentation with FAVESS Co. with Key Suggestion of KOYO's Original Vehicle Integrated Control-

5月19日からの3日間、横浜の“みなとみらい21地区”にあるパシフィコ横浜で、日本を代表する自動車技術のカンファレンスである第3回自動車技術会春季大会が開催され、併設の展示会で当社も(株)ファーブスと共に出品した。

本展は、展示ホールも拡張され、海外からの出展も含めて過去最大の294社が自社の技術を競い、回を重ねるたびに入場者も増加し4.4万人の入場を記録した。

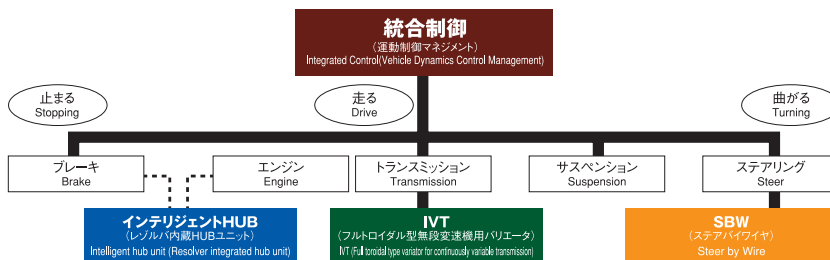
当社は車両統合制御の提案をメインに、環境対応の低トルク化技術や高機能製品を出展。また、当社の環境取組みを、映像を通じて紹介した。

1. 人とくるまのテクノロジー展2004概要

- ・開催期間：2004年5月19日～21日
- ・会場：パシフィコ横浜
- ・主催：社団法人 自動車技術会
- ・会場面積：20,000m²
- ・出展会社数：294社
- ・入場者数：44,032名

2. 車両統合制御

ステアバイワイヤシステム、フルトロイダル型無段変速機IVT用バリエータ、高分解能・正逆検知センサ内蔵ハブユニットの各種デモ機、カット品でKoyo独自のローカル制御システムの提案。



エンジン・トランスミッション・ブレーキ・サスペンション・ステアリング等を車両状態に応じ、統合的に協調制御を行う車両統合制御に向け光洋精工は次のように考え取り組んでいます。
 “走る” “止まる” ことを支える技術としてIVT（フルトロイダル型無段変速機用バリエータ）、センサ情報提供技術としてi-HUB（レゾルバ内蔵HUBユニット）、“曲がる” ことを支える技術としてSBW（ステアバイワイヤ）等の技術提案をし、車両統合制御に向けた技術開発、提案をしていきます。



ステアバイワイヤシステム



フルトロード型無段変速機 I V T
用バリエータ



レゾルバ内蔵 H U B ユニット

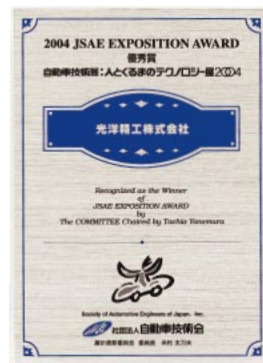
3. 軸受関係

プラネタリギヤ用ニードル軸受や低トルク円すいころ軸受の体感デモ，3世代円すいころ軸受ハブユニットなどを，従来品との比較も交えて展示．

4. ステアリング関係

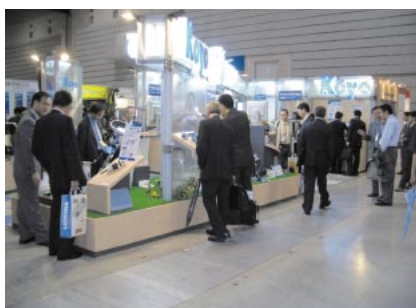
安全性，快適性，環境対応に配慮した油圧式パワーステアリングシステム，各種ステアリングコラム，インタミシャフト，異音対策のホースなどを展示．(株)ファーベスからは各種電動式パワーステアリングの紹介やギヤ比可変ステアリング(E - V G R)システムの体感デモも展示．

- 1)開催初日に実施された出展内容の評価で，主催者の自動車技術会から優秀賞を受賞し，当社のプレゼンス，技術力を来場者の方々に評価を頂いたことで，喜ばしい出展となった．



(優秀賞の盾)

- 2)開催二日目には(株)ファーベスのエンジニアがセミナー会場で，電動式パワーステアリングの講演も実施．定員100名のところを，立ち見も出る150名の参加があり，ファーベスの知名度向上や技術力のアピールに有効なセミナーとなった．



全体写真



電動式パワーステアリング